



おお くて

おお い

大湫宿 ~ 大井宿

約 13.7 km

歩き旅

中山道ぎふ17宿とは?

江戸時代に整備された五街道の一つである中山道は、江戸と京都を結ぶ重要な街道で、全長135里32丁(約534km)に69の宿場が置かれました。そのうちの17宿、126.5kmが岐阜県のみを東西に横断しており、今も往時の面影を色濃く残しています。その土地の歴史や文化、隠れた魅力の発見を楽しむ街道観光は岐阜県の誇るべき観光資源であるとして、「岐阜の宝もの」に認定されました。

大湫宿

大湫宿は、「大久手宿」とも書かれ、江戸から数えて47番目の宿となります。湫とは沼地や湿地帯を表す言葉で、峠に挟まれた低い場所で水が溜まりやすいところを指してこの名になったようです。東の十三峠、西の琵琶峠に挟まれた宿場は、国道や鉄道などの近代交通が発達しておらず、交通の不便な場所になった反面、静かで落ち着いた町並みが今も往時の姿をしのばせます。

大湫観音堂

参拝者は賽銭を投げ入れたあと、正面で拝礼、観音堂右脇の釣鐘を鳴らしてお参りできます。宿の大火で類焼し、弘化4年(1847)に再建。観音堂内の天井絵は、旧恵那郡付知町の画人三尾静によるもので恵那市指定文化財になっています。また敷地内に松尾芭蕉の句碑などもあり、見晴らしも抜群です。

中山道広重美術館

平成13年(2001)にオープンした歌川広重の版画を多数所蔵する美術館。恵那市の収集家田中春雄氏の田中コレクション『木曾海道六拾九次之内』は、毎年9月頃、1か月のみ実物展示されます。
9:30~17:00 月曜、祝翌日、年末年始休館
観覧料:企画展大人510円 高校生以下無料
※一部展示会によって観覧料が異なる場合があります

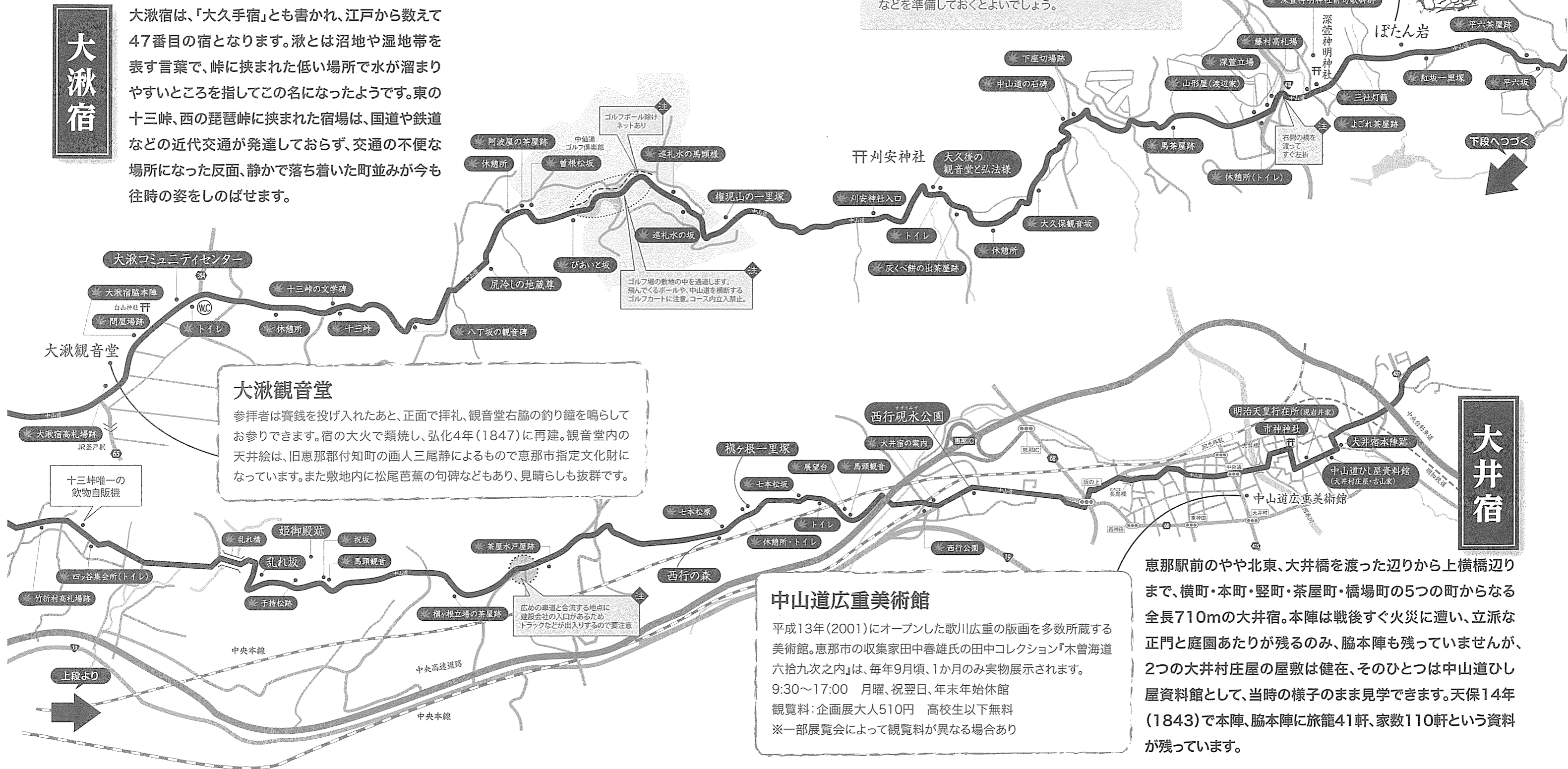
ぼたん岩

地面にある直径5mほどの大岩。ぼたんの花のようにも見えることからこの名が付けましたが、学術的にはオニオンクラック(玉ねぎのようにひび割れる)と呼ばれる貴重な岩です。

十三峠

「十三峠におまげが七つ」と言われ、アップダウンが20以上ある中山道の難所のひとつ。坂には様々な名前が付けられています。江戸時代に整備された街道のため当時の水飲み場や休憩場所(立場)なども頻りに現れます。現代的なものがほとんど排除されているので、山道には自販機もコンビニもありません。町角にもほとんどお店などはないので、歩く前には飲み物や軽食などを準備しておくといでしょう。

Topics



大井宿

恵那駅前のやや北東、大井橋を渡った辺りから上横橋辺りまで、横町・本町・堅町・茶屋町・橋場町の5つの町からなる全長710mの大井宿。本陣は戦後すぐ火災に遭い、立派な正門と庭園あたりが残るのみ、脇本陣も残っていませんが、2つの大井村庄屋の屋敷は健在、そのひとつは中山道ひし屋資料館として、当時の様子そのまま見学できます。天保14年(1843)で本陣、脇本陣に旅籠41軒、家数110軒という資料が残っています。



おおい なかつ がわ

大井宿 ~ 中津川宿

約 9.8 km

歩き旅

中山道ぎふ17宿とは？

江戸時代に整備された五街道の一つである中山道は、江戸と京都を結ぶ重要な街道で、全長135里32丁(約534km)に69の宿場が置かれました。そのうちの17宿、126.5kmが岐阜県のみ濃地方を東西に横断しており、今も往時の面影を色濃く残しています。その土地の歴史や文化、隠れた魅力の発見を楽しむ街道観光は岐阜県の誇るべき観光資源であるとして、「岐阜の宝もの」に認定されました。

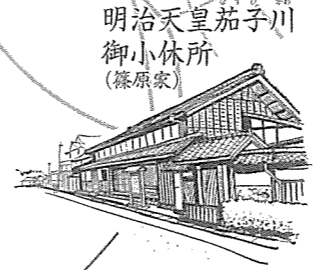
大井宿

恵那駅前やや北東、阿木川を大井橋で渡った辺りから上横橋辺りまで、横町・本町・堅町・茶屋町・橋場町の5つの町からなる全長710mの大井宿。本陣は戦後すぐ火災に遭い、立派な正門と庭園あたりが残るのみ、脇本陣も残っていませんが、2つの大井村庄屋の屋敷は健在。そのひとつは中山道ひし屋資料館として、当時の様子そのまま見学できます。天保14年(1843)で本陣、脇本陣に旅籠41軒、家数110軒という資料が残っています。



中山道ひし屋資料館 (大井村庄屋・古山家)

大井宿の有力な商家・古山家の住宅を改修し、大井宿の町屋を体験できる施設として平成12年(2000)に開館。奥の店蔵には、妻籠宿から大湫宿までの紹介と資料展示があります。
9:00~17:00 月曜、祝翌日、年末年始休館
入館料:大人200円 小中高100円



明治天皇茄子川御小休所 (篠原家)

加賀前田家の重臣・篠原一族が当主。代々「長八郎」と名乗り、茄子川村の村方役人、尾張領の庄屋、戸長などを務めてきました。皇女和宮や明治天皇が御小休された建物が現存し、お休みにした部屋、厠、表門などは当時のままに保存されています。

国道脇から横断歩道を渡って、国道19号の側道に出て階段を上ります。(案内板あり)

Topics

リニア中央新幹線が走る美乃坂本駅周辺

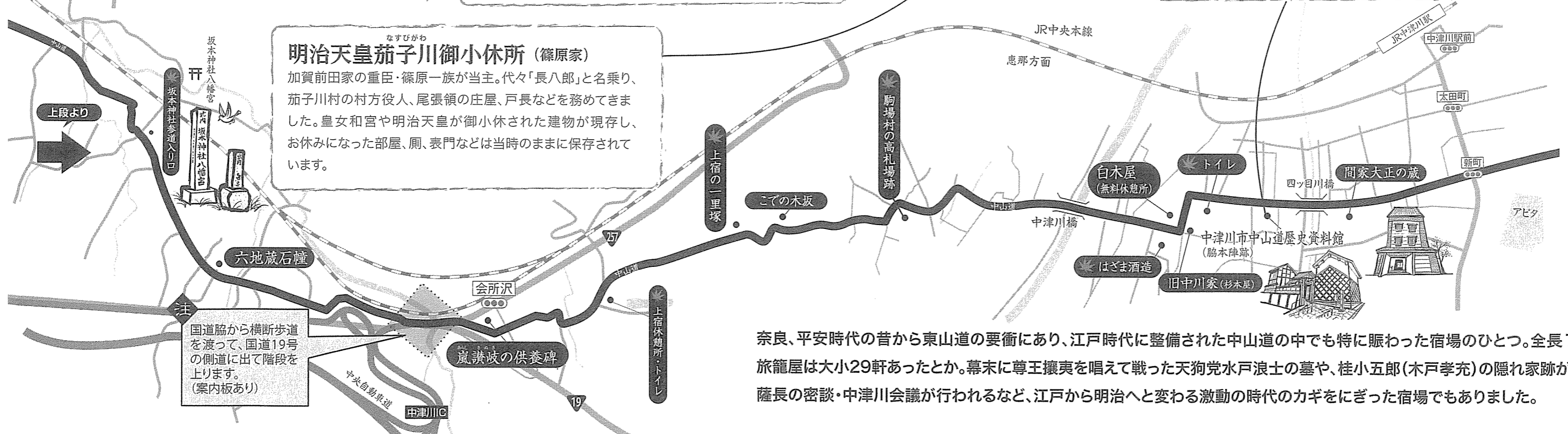
JR美乃坂本駅がある中津川市千旦林坂本地区は、2027年のリニア中央新幹線ルートにあたるエリアです。将来、美乃坂本駅近くには新駅が置かれ、広い車輛基地も建設される予定。昔は中山道の要所として旅人が往来したこの場所に、近い将来、東京~名古屋間を40分でつなぐリニア中央新幹線が停まり、人の流れもきっと変わることでしょう。

中津川市中山道歴史資料館 (脇本陣跡)

中津川宿脇本陣跡地に建つ資料館。館内では中津川宿の歴史を資料展示しています。館裏手には、中津川宿脇本陣の一部、土蔵と上段の間が復元されています。
開館時間 9:30~17:00(入館は~16:30)
月曜・年末年始休館 入館料 大人320円 中学生および幼児は無料

中津川宿

奈良、平安時代の昔から東山道の要衝にあり、江戸時代に整備された中山道の中でも特に賑わった宿場のひとつ。全長1,100m、旅籠屋は大小29軒あったとか。幕末に尊王攘夷を唱えて戦った天狗党水戸浪士の墓や、桂小五郎(木戸孝充)の隠れ家跡が今も残り、薩長の密談・中津川会議が行われるなど、江戸から明治へと変わる激動の時代のカギをにぎった宿場でもありました。





歩き旅

清らかな水を湛え、400年の歴史が宿る 中山道大井宿

「六つの枡形」と「和宮泉」

六つもある“枡形”の謎!?

大井宿の町並みは、横町・本町・竪町・茶屋町・橋場のそれぞれのまち外れでほぼ直角に曲がっています。

宿場の特徴の一つとされる“枡形”ですが、すべての宿場にあるわけではなく、あっても一ヶ所が多い中、大井宿の枡形は六つ、しかもすべてが美しい直角を描いています。大井宿の特徴でもあります。枡形は通常、城や城下町に築かれるもので、幕府は大井に城を築き城下町にしようとしたのではな

いか?という説や、狭い土地に少しでも多くの家屋を建てるために道を直角にしたのでは?など諸説ありますが、はっきりと解っていません。

④古屋家

江戸時代には大井村の庄屋を務めた家柄でした。土壁で塗った塗り込め式の建物で虫籠窓や卯建が有る江戸期の雰囲気を残す建物です。

⑧宿役人の家(戸長役場跡)

林家は本陣林家の分家で、代々宿役人の間屋役を務め、苗字帯刀を認められた家柄でした。立派な門の造りが往時を偲ばせます。

⑩大井宿本陣跡(林家)

書院のついた豪壮な本陣でしたが、昭和22年に焼失してしまいました。現在は安土桃山様式を伝える薬医門が残っています。

③隠れた名品

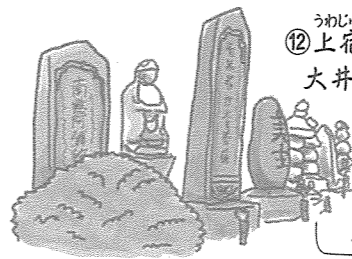
“ライオンと人魚の像”

大井ダム建設の犠牲者供養のため、大井を訪れた仏師“福崎日精”作の像。正面はライオン、左側は人魚、さて右側は?美大生も訪れる知る人ぞ知る! 隠れた名品!

⑫上宿の石仏群

大井宿の繁栄と無病息災を祈って建てられたであろう石仏が一行に並んでいます。寝ざり地藏や庚申塔、南無阿弥陀仏(※仏なし)、また徳本和尚の南無阿弥陀仏の碑など珍しい石仏群です。

菅原神社



⑪南無阿弥陀仏の碑(名号塔)

この石碑は、江戸時代に旅の途中で大井宿で亡くなった母親の菩提を弔って家族が建てた碑です。大井宿の人達のおもてなしに感謝して、武蔵の国からわざわざ石工を派遣して建造したものです。

寺坂の馬頭観音⑬

⑫上宿の石仏群

⑭長國寺

⑭長國寺

行基が開山したと伝わる寺院です。歌人の西行法師を葬送した寺としても知られています。寺には西行の位牌などが残されています。東京芸術大学教授日比野克彦氏作、「妊観音像」が安置されています。

⑮内城稲荷

この稲荷は大井の城の守護神であったと言われています。社前のひょうたん形の石は武将吉村源吉が伊勢の河原で拾い煙草入れの根付に使っていたと言われています。

内城稲荷の根付け石

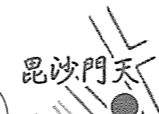
⑯和宮泉

大井宿には古くから良水の湧く井戸がたくさんありました。“大井”という地名もここから由来します。この井戸は本陣林家が常用した井戸で、和宮さまが御降嫁の折に水守役の山城守が、「良水これに勝るものなし」と言って、大井で御昼食だけでなく、次のお泊りの中津川宿まで運ばせたという話が残っていることから、この名がつけました。



⑮寺坂の馬頭観音

人のために懸命に働く馬を労って、この土地の八名の女性が馬頭観音を建てました。重い荷物を運ぶ馬の姿とそれを見守る人の姿が重なって見えます。観音様の裏面には女性たちの名前が印されています。それもまた珍しい! 後ろを見て確かめて!



延寿院横薬師

枡形①

⑯和宮泉

⑮内城稲荷

大井宿本陣跡

枡形②

⑨中山道ひし屋資料館

⑨中山道ひし屋資料館(有料) 有力な商家であり、長く庄屋を務めた「ひし屋」古山家は、明治初年に改築され、大規模な近世的町屋建築として残されています。*月曜休館

⑦明治天皇行在所(無料) 明治天皇が明治13年(1880年)6月28日に、この場所(当時は伊藤家)にお泊りになりました。現在でも部屋・風呂場・畳敷きのトイレなど当時のまま残されている珍しい建物です。一般開放しています。入場は無料ですので、ぜひ見学を! *火曜・水曜休館

⑥いち川

かつては「角屋」と呼ばれた街道沿いの旅籠で、若山牧水、北原白秋など文人墨客に愛された400年の歴史を持つ老舗旅館です。美濃16宿の中で最も旅籠が多かったのがここ大井宿です。そして40軒以上あった旅籠も現存するのはここだけ!

⑤長屋門...の謎!?

本陣の表門の北にあった門が移築されたものだとされているが...一説には岩村城廢城の折、城の門が移築されたとも...謎多き門なのです!

②中山道広重美術館 円熟期の広重が中山道を描いた「木曾海道六拾九次之内」など浮世絵版画を中心に収蔵しており、ほぼ毎月入れ替え展示をしています。模擬版木を使った重ね刷り体験も人気! *月曜休館



①信濃屋 大正元年の建築ですが、明治の建築様式を伝える木造3階建ての信濃屋は、かつて福沢桃介と貞奴、北原白秋も訪れた由緒ある旅館です。



中山道広重美術館

②

信濃屋

①

尾張白木改番所跡

茶屋町

古屋家

長屋門

いち川

南竪町

橋本屋跡

橋本屋跡

橋本屋跡